

2015年 ネパール学校支援

訪問期間：2015.1.23～2015.1.31

訪問者：稲田栄一会員、大森龍一会員、石井秀明会員

2014 - 15年度のネパール支援学校訪問は、クラブを代表して大森副会長、石井社会奉仕委員長と私の三人で1月23日(金)から1月31日(土)(成田着2月1日早朝)の9日間でサンサリマイ中学校を中心にネパールを訪問して来ました。

今年は、サンサリマイ中学校を訪問した1月25日(日)が全国の学校で学業の神を祭る“サラスワティ・プジョ”という祭りの日で授業の無い日でした。それでも、朝8時頃から始まった祭りでしたが供養が終わった後、我々を迎えるために多くの生徒が残ってくれて温かく迎えてくれました。そして、歓迎式典でクラブから預かってきた支援金4万円をルビ校長に贈呈致しました。

子供達一人一人には、会員からの御協力を頂き幼児以外は鉛筆と鉛筆削りを、幼児にはお菓子セットをそれぞれプレゼントしました。目を輝かして笑顔で“ナマステ〜”と言って両手で受け取る子供達が今でも目に浮かびます。

今年は、学校に来る途中のサンコシ川の河原で全員が拾い集めた拳大の200個近い石を使って子供達との「ふれあい授業」を行いました。ペーパーナプキンの絵柄を切り取り石に貼る「デコパーージュ」作りです。先生も参加しみんなで楽しく作ることが出来て、200個近くあった石も約1時間で全て無くなり、楽しい授業が出来たのではないのでしょうか。また、早朝の婦人学級では30人近いお母さん達が集まってくれました。石鹸とお菓子のセットをみんなに配り、その後お母さん達から質問を受けたのですが、どのお母さんも我々クラブの支援に対する感謝と御礼の言葉でした。



この他トゥロバカール村では、カカリン高校（波崎 RC 支援）とデビ中学校（鹿島高校支援）を訪問しました。

カカリン高校ではカマウ・ブラッサ・セレスタ校長とデビ中学校ではリバン・ボスネ校長やラトナ・タマング会長達と学校の状況などの話を聴くことが出来ました。



“サラスワティ・プジョ”



楽しくみんなで「デコパーージュ」作り

[Rotary Club of Patan Durbar Square]

12時に Patan Durbar Square のレストランで Ajar Man Joshi 会長、パスト会長、チャーターメンバーのパスト会長の3人と面談しました。Patan は Kathmandu に近く、Art でも有名な所です。ネパールは、DI3292 地区に所属し、88クラブあります。

Patan Durbar Square RC は、2003年6月25日に認証され、現在会員数27名（内女性会員3名）である。

海外RCとはマッチング・グラントやWCSプロジェクトを実施し多くの成果を上げている。

最後に、クラブの主要プロジェクトである脳性（小児）マヒの子供達の自立支援グループと心臓病検診施設を是非見てほしい、そしてDinner Partyへの出席を要請されたので、次の日のスケジュールを変更して施設2カ所の視察を行いました。



Rotary Club of Patan Durbar Square

左から Ram Prasad Joshi 氏、大森会員、石井会員、稲田会員、Ajar Man Joshi 会長、Janak Prakash Thapa 氏



Self-Help Group for Cerebral Palsy Nepal



Nepal Heart Foundation, Lalitpur